

2023年11月10日

日本台湾学会会員各位  
台湾史研究会会員各位

## 第21回日本台湾学会関西部会研究大会

師走の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

下記の要領で第21回日本台湾学会関西部会研究大会を開催いたします。例年どおり、リモート配信も行いますので、皆様にはオンライン上でもふるって御出席くださいますようお願い申し上げます。今年度も会場近くにて懇親会を開催いたします。

当大会は、日本台湾学会と台湾史研究会との共催で運営しております。

### 記

日時：12月23日（土） 13時（受付開始）～

場所：関西大学梅田キャンパス KANDAI Me Rise 7階 701教室

阪急「大阪梅田駅」茶屋町側から徒歩5分、JR「大阪駅」御堂筋南口から徒歩10分。

詳しい道順はこちらのサイトを参照ください。

<https://kandai-merise.jp/access/>

参加希望の方は下記のフォームより事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/apuQCKv375UbK6>※締切は12月16日

<プログラム>

13時30分 開会の辞 台湾史研究会代表・やまだあつし（名古屋市立大学）

研究報告

報告時間 25分 コメント 10分 質疑応答 15分

※リモートによる参加

第1部 司会：五十嵐真子

第1報告 13時35分～14時25分

題目：終戦前後における大阪府の台湾出身者について

報告者：謝政徳（大阪大学招へい研究員）

評論：鶴園裕基（香川大学）

第2報告 14時35分～15時25分

題目：戦後・冷戦期における愛知県の華僑と「二つの中国」、そして台湾

報告者：岡野翔太（大阪大学特任研究員）

評論：和泉司（豊橋技術科学大学）※

第2部 司会：根岸忠（高知県立大学）

第3報告 15時35分～16時25分

題目：越境者としての胡蘭成一中国、日本、台湾における文学交流とそれによるイメージの形成に着目して一

報告者：呉穎濤（大阪大学大学院）

評論：濱田麻矢（神戸大学）※

第4報告 16時35分～17時25分

題目：現代台湾史における蔡英文政権の位置：歴代の総統文告から見る

報告者：若松大祐（常葉大学）

評論：松田康博（東京大学東洋文化研究所）※

17時30分 閉会の辞

18時30分～ 懇親会

会費：一般 6000円、学生 5000円（席に限りがありますので、希望の方は早めに上記の関西部会への参加申し込み用フォームより申し込みください。満席となり次第、締め切らせていただきます）

会場：中華料理 大東洋 <https://daitoyo-umeda.owst.jp/map>

大阪府大阪市北区中崎西2-1-9 観光ビル大東洋 9F tel 06-6312-7525

（阪急線梅田駅 徒歩7分、JR大阪駅 徒歩7分、地下鉄谷町線中崎町駅 4番出口 徒歩3分）